No. 85

発行所
静岡県富士市役所
富士市平垣279番地
発行兼編集人
富士市長　漆畑五六
印刷所
加藤印刷所

広報ふじ

昭和37年6月1日発行

人口の動き

人口総数	49,058	男	24,823
世帯数	10,159	女	24,235
転入	517	出生	71
転出	375	死亡	20
婚姻	42	離婚	3
		死産	11

（昭和37年5月1日現在、住民登録による）

広報みなさん

◇計量週間（1日～7日）

6月7日は計量記念日、計量法が施行されて十一週年の記念日にあたる。この際一段と計量思想の普及につとめることになっている。

◇歯の衛生週間（4日～10日）

ひと歯を中心とする歯や口の病気は、その害が身近かに感じられないため、歯の衛生については国民一般の世論を十分に喚起できない現状である。そこで期間中は、とくに妊産婦、乳幼児を対象にして早期治療の時間的経済的な効果を周知すること。中央では第十一回「母と子のよい歯のコンクール」が実施される。

◇第四回水道週間（4日～10日）

健康な日常生活を営む上に重要な役割を果たす水道の普及は、欧米各国にくらべると未だ低く、公衆衛生の向上と生活環境の改善のため一層の普及が望まれます。

財政白書

堅実にあゆむ本市の財政

予算総額12億円を超す

駿河湾臨海工業都市へと発展

富士市の財政が現在どのようになっており、また現在どのように変っているかということを市民の皆さんに知っていただくために、毎年二回、市の財政事情を公表しております。今回は昭和三十六年度の予算の現況、財産の保有状況、借入金の現在高などを公表して、皆さんが市の行財政の動向を把握されると共に、市の行政に要する費用をどれだけ負担しているか、またそれによってどのような利益を受けているかなど、広くその実態を知っていただきたいと存じます。

昭和三十六年度の一般会計の最終予算額は九億三、四〇三万九、九〇〇円であります。これは県内一八市中一〇億円台の規模を持つ都市は数少くこの仲間入り出来る日も近いことと思います。又本市が昭和二九年に市制を施行したときの人口は、四〇、九四三人でその当時の予算額も二億九、一九二万円余であり、これを現在と比較すると人口で約二割、予算額では実に三倍の強力な伸長を示し八年後の今日では駿河湾臨海工業地帯の中核工業都市として恵まれた立地条件を有効に生かし着々発展途上にあることは、まことに喜ばしく存じます。

市財政会計別内訳

（昭和36年度最終予算額）

一般会計	9億3,403万円
国保会計	9,889万円
質屋会計	408万円
と畜場会計	266万円
病院会計	1億7,650万円
水道会計	6,707万円
総額	12億2,317万円

一般会計のあらまし

昭和三十六年度当初予算の概要につきましては、前回の財政事情で説明いたしましたので、今回は昭和三十六年十月から昭和三七年三月までの現況を説明いたします。

前回までの総予算額六億四、七〇一万九千円に対し、その後六回の追加更正によりまして九億三、四〇三万九、九〇〇円となり、二億八、七〇一万九〇〇円の増となっております。

追加更正予算中、費目別の主なものは

市税　七、二二五万一、一〇〇円の追加額は、電気ガス税三、二七七万一、一〇〇円市民税二、〇四四万円固定資産税一、九〇四万円その他であります。

地方交付税　については五百万円の追加であります。

公営企業及び財産収入　四二一万一、二〇〇円の追加は主として漁港用地売却代金であります。

分担金及び負担金　については措置児童扶助費基準改訂による増額分として二〇万五千円であります。

使用料及び手数料　は十三万五〇〇円で主として保育料が追加されました。

国庫支出金　八八一万八千円の減額ですがこの主なものは都市計画補助金で一、二三五万円、南中学校建設補助金で一七六万五千円の減でありますが生活保護費等基準改訂による扶助費の増加があります。

県支出金　は五六〇万五、四〇〇円の追加で鉄道債券引受に伴う売却差引額補填のための補助金四五〇万円が殆んどであります。

寄附金　八九万三、四〇〇円の追加額は、県道舗装工事に対する受益者負担金五〇万円、その他であります。

繰越金　六、八九一万八、四〇〇円の追加額は前年度の繰越金であります。

雑収入　一億一、六一三万一、九〇〇円の追加額は、主として国鉄新幹線工事施行に伴う田子浦小学校移転補償金一億五〇〇万円でその他に田子浦港湾用地賃収費立替金の県より戻入分八〇〇万円、五市競輪組合より収益分配金として三〇〇万円、道路築造に伴う受益者立替金二七一万八、五〇〇円その他であります。

特別会計のあらまし

国民健康保険

他の健康保険に該当しない市民一六、八一八人（四、一六七世帯）の健康をあずかっています。予算三、五八七万のうち収入済額は四、一五五万円、支出済額は三、四三三万円でした。

公益質屋

水戸島中に一か所あり市民に月二七一万八、五〇〇円その他であります。

公営企業会計のあらまし

市立中央病院

本市場にあり市民の医療機関として非常に役立っています。昭和三六年度下半期における業務量は診療人員で入院三八、七〇五人、外来九〇、一六一人です。

投薬件数で入院一四、三一八件外来五五、五九四件あり、手術件数では入院七八一件、外来五一三件あります。又三月末現在の予算一五、八二二円に対し収入は一五、三四七万円、支出は一四、九一九万円資本的予算一、八一八万円に対し収入は九七九万円、支出は一、六七五万円となっており昭和三六年度における純利益は四一七万円でした。

水道

市の発展につれて下半期の自然増は四二一戸をかぞえ、給水人口は三四、六七五人（七、二二四戸）、普及率七一％になりました。

三月末現在の予算の執行状況は収益的予算四、二一八万円に対し収入は四、二七〇万円支出は四、〇八九万円、資本的予算一、五七九万円に対し収入は一、六八七万円支出は一、二〇四万円となっております。

と畜場

中島新道町にあって市民に新鮮な食肉を提供しています。予算一七八万円のうち収入済額は三〇一万円、支出済額は一七一万円でした。

公益質屋

市民一人当り九六一一円の負担額

みなさんからいただく市税の内訳は、次に掲げたグラフの通りです。この内固定資産税、電気ガス税、市民税の三つで、全体の九一％を占めておりみなさんの納税が健全財政の大きい支えとなっていることがわかります。

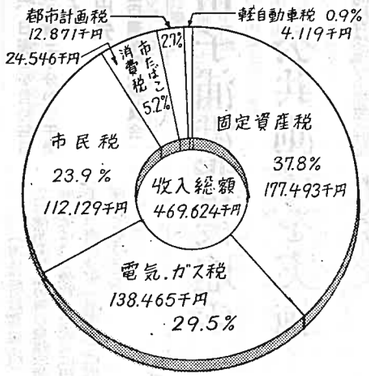
又これを市民一人当り負担額をみると九、六一一円一世帯当りでは四六、四九三円となります。

これを更に一世帯当りの各税目別にその負担状況を掲げると

①固定資産税＝一七、五七一円
②電気ガス税＝一三、七〇八円
③市民税　＝一一、一〇一円
④市たばこ消費税＝一四三〇円
⑤都市計画税　＝一、二七四円
⑥軽自動車税　＝四〇八円

昭和36年度税目別市税収入割合

（昭和37年3月31日現在）



市税

三、二〇〇万円の追加額は田子浦港湾整備地元負担一、九〇〇万円し尿消化槽建設費七〇〇万円、都市計画事業費二〇〇万円で他面中学校建設費は七〇〇万円減額しました。

以上歳入について追加額の内容について説明しました。

つぎに歳出の費目別の主なものは

議会費　一八八万三千円の追加額は議員報酬改訂に伴う増額分一七二万円とその他であります。

市役所費　七八五万四、五〇〇円の追加額は職員給与改訂に伴う増額分を中心に市役所職員費で六六九万二、五〇〇円自動車諸費七〇万九千円諸費四四万七千円その他であります

消防費　三九万六千円の減額でありますがこれは消防庁舎築工事費三〇〇万円、消防車修繕料二二万円の減と他面、消防職員の給与改訂に伴う増額分五〇万円、消防無線電話装置一式等備品費六七万円、故米山消防団長郵便経費三四万円、防火水槽工事費三〇万円、その他があり、差引減額となりました。

土木費　二、五九一万六〇〇円の追加額は道路維持修繕費三九五万円、道路新設改良費一、八八四万七千円、用悪水路費一三九万円、砂防費一二五万一千円、災害土木費三九万一、六〇〇円その他であります。

都市計画費　四、九一五万円の追加額は田子浦港整備事業地元負担金四、五〇〇万円、街路築造費一九五万円、市単独街路事業費七八〇万円、区画整理調査費五〇万円の増加と他面、街路舗装費六九〇万円の減額があります。

教育費　七、三七一万四、七〇〇円の追加額には教育委員会費五、三三万四千円、小学校費三五一万八、九五〇円、中学校費八五九万一、〇五〇円、幼稚園費四〇万円、公民館費五一万五千円、学校改築費として南中学校新築費一、七九七万円、田子浦小学校移築費三、六七〇万円、その他であります。

社会及び労働施設費　一、四一五万三、二〇〇円の追加額は生活保護費において基準改訂による増額分三三七万一、五〇〇円児童福祉費として保育所新設費外三一一万六、五〇〇円、住宅費として第一種公営住宅二戸増加分と同じく建設用地賃収費外八一二万三千円、厚生諸費四三万円、勤労者会館増築工事不足分一〇万円、その他であります。

年金費においては一八四万五〇〇円が減額されております。

選挙費　三千円の追加額でありますが選挙人名簿調製費四万円、県条例廃止請求事務費三万七、五〇〇円の増に対し公明選挙啓発推進費七万七千円の減、その他であります。

公債費　については前回と同様であります。

諸支出金　一、七七三万三、三〇〇円の追加額は諸費として田子浦港湾用地代及び旭化成工場敷地の支払い措置費四四万七千円その他であります。

保健衛生費　八四〇万の追加額はし尿消化槽建築費三四万円で管理人住宅その他附帯工事費、清掃費五四万でじんかい焼却炉修理代、予防接種費五五万八千円で小児マヒワクチン購入代、衛生諸費中下水道基本計画調査委託料一〇万円、その他であります。

産業経済費　二、一五一万八、三〇〇円の追加額は、農業委員会一五万八千円、農林水産振興奨励費八九万四千円耕地事業費一七四万円、商工振興奨励費は旭化成誘致契約に基く助成金一、八一六万一、七〇〇円、その他であります。

財産費　七、〇五六万八、三〇〇円の追加額は田子浦小学校移築積立金六、八三〇万円、財産造成費として大昭和製紙K.K増資に伴う株式払込金二一九万三、八〇〇円その他であります。

統計調査費　一万八千円の追加額は世界農業センサス集計事務費であります。

教育費　七、三七一万四、七〇〇円の追加額は教育委員会費五、三三万四千円、小学校費三五一万八、九五〇円、中学校費八五九万一、〇五〇円、幼稚園費四〇万円、公民館費五一万五千円、学校改築費として南中学校新築費一、七九七万円、田子浦小学校移築費三、六七〇万円、その他であります。

財産費　七、〇五六万八、三〇〇円の追加額は田子浦小学校移築積立金六、八三〇万円、財産造成費として大昭和製紙K.K増資に伴う株式払込金二一九万三、八〇〇円その他であります。

統計調査費　一万八千円の追加額は世界農業センサス集計事務費であります。

議会費　一八八万三千円の追加額は議員報酬改訂に伴う増額分一七二万円とその他であります。

市役所費　七八五万四、五〇〇円の追加額は職員給与改訂に伴う増額分を中心に市役所職員費で六六九万二、五〇〇円自動車諸費七〇万九千円諸費四四万七千円その他であります

消防費　三九万六千円の減額でありますがこれは消防庁舎築工事費三〇〇万円、消防車修繕料二二万円の減と他面、消防職員の給与改訂に伴う増額分五〇万円、消防無線電話装置一式等備品費六七万円、故米山消防団長郵便経費三四万円、防火水槽工事費三〇万円、その他があり、差引減額となりました。

土木費　二、五九一万六〇〇円の追加額は道路維持修繕費三九五万円、道路新設改良費一、八八四万七千円、用悪水路費一三九万円、砂防費一二五万一千円、災害土木費三九万一、六〇〇円その他であります。

都市計画費　四、九一五万円の追加額は田子浦港整備事業地元負担金四、五〇〇万円、街路築造費一九五万円、市単独街路事業費七八〇万円、区画整理調査費五〇万円の増加と他面、街路舗装費六九〇万円の減額があります。

教育費　七、三七一万四、七〇〇円の追加額には教育委員会費五、三三万四千円、小学校費三五一万八、九五〇円、中学校費八五九万一、〇五〇円、幼稚園費四〇万円、公民館費五一万五千円、学校改築費として南中学校新築費一、七九七万円、田子浦小学校移築費三、六七〇万円、その他であります。

社会及び労働施設費　一、四一五万三、二〇〇円の追加額は生活保護費において基準改訂による増額分三三七万一、五〇〇円児童福祉費として保育所新設費外三一一万六、五〇〇円、住宅費として第一種公営住宅二戸増加分と同じく建設用地賃収費外八一二万三千円、厚生諸費四三万円、勤労者会館増築工事不足分一〇万円、その他であります。

年金費においては一八四万五〇〇円が減額されております。

選挙費　三千円の追加額でありますが選挙人名簿調製費四万円、県条例廃止請求事務費三万七、五〇〇円の増に対し公明選挙啓発推進費七万七千円の減、その他であります。

公債費　については前回と同様であります。

諸支出金　一、七七三万三、三〇〇円の追加額は諸費として田子浦港湾用地代及び旭化成工場敷地の支払い措置

収入は 8億276万円

三月末日現在の一般会計における収入は八〇二、七六七、六七五円、支出は六五一、七六五、三六七円でこれは最終予算額に対しそれぞれ八六、〇％および六九、八％の比率であります。

これを差引しますと二五一、〇〇二、三〇八円の黒字となっております。

これは財政運営の合理的な執行と順調な市税の伸びと市民のみなさんの納税に対する理解が徴収率の上昇となってあらわれ、財政運営に大きな力をしめていることを物語っています。

今後も健全財政のもとに、なお一層、行政効果を上げるよう努力する考えですから、更に市民のみなさんのご協力をお願いします。

市債

三、二〇〇万円の追加額は田子浦港湾整備地元負担一、九〇〇万円し尿消化槽建設費七〇〇万円、都市計画事業費二〇〇万円で他面中学校建設費は七〇〇万円減額しました。

以上歳入について追加額の内容について説明しました。

つぎに歳出の費目別の主なものは

議会費　一八八万三千円の追加額は議員報酬改訂に伴う増額分一七二万円とその他であります。

市役所費　七八五万四、五〇〇円の追加額は職員給与改訂に伴う増額分を中心に市役所職員費で六六九万二、五〇〇円自動車諸費七〇万九千円諸費四四万七千円その他であります

消防費　三九万六千円の減額でありますがこれは消防庁舎築工事費三〇〇万円、消防車修繕料二二万円の減と他面、消防職員の給与改訂に伴う増額分五〇万円、消防無線電話装置一式等備品費六七万円、故米山消防団長郵便経費三四万円、防火水槽工事費三〇万円、その他があり、差引減額となりました。

土木費　二、五九一万六〇〇円の追加額は道路維持修繕費三九五万円、道路新設改良費一、八八四万七千円、用悪水路費一三九万円、砂防費一二五万一千円、災害土木費三九万一、六〇〇円その他であります。

都市計画費　四、九一五万円の追加額は田子浦港整備事業地元負担金四、五〇〇万円、街路築造費一九五万円、市単独街路事業費七八〇万円、区画整理調査費五〇万円の増加と他面、街路舗装費六九〇万円の減額があります。

教育費　七、三七一万四、七〇〇円の追加額には教育委員会費五、三三万四千円、小学校費三五一万八、九五〇円、中学校費八五九万一、〇五〇円、幼稚園費四〇万円、公民館費五一万五千円、学校改築費として南中学校新築費一、七九七万円、田子浦小学校移築費三、六七〇万円、その他であります。

社会及び労働施設費　一、四一五万三、二〇〇円の追加額は生活保護費において基準改訂による増額分三三七万一、五〇〇円児童福祉費として保育所新設費外三一一万六、五〇〇円、住宅費として第一種公営住宅二戸増加分と同じく建設用地賃収費外八一二万三千円、厚生諸費四三万円、勤労者会館増築工事不足分一〇万円、その他であります。

年金費においては一八四万五〇〇円が減額されております。

選挙費　三千円の追加額でありますが選挙人名簿調製費四万円、県条例廃止請求事務費三万七、五〇〇円の増に対し公明選挙啓発推進費七万七千円の減、その他であります。

公債費　については前回と同様であります。

諸支出金　一、七七三万三、三〇〇円の追加額は諸費として田子浦港湾用地代及び旭化成工場敷地の支払い措置

公債の状況

市ではいろいろな公共事業をおこなうために政府機関から長期の事業資金を借入れます。これは市債といって事業を重点的におこなうためぜひとも必要な財源です。

現在の市債額は五一、八九〇万円あり、この借入れ先は大蔵省の資金運用部から三五、九一七万円で六八％、郵政省の簡易保険局から一〇、八七五万円で二一％公営企業金融公庫その他で六、〇九八万円で一一％となっております。

これら市債の返済は毎年公債費として支出予算に計上されますが、本年度の場合元利合せて三、九四〇万円償還されることになっています。約五億三千万円にのぼる市債の現在額の用途別内訳は次の通りです。

▽義務教育施設債　五、七〇二万円
▽一般補助事業債　八、〇五四万円
▽一般単独事業債　三、四一三万円
▽災害復旧事業債　四一万円
▽転貸債　四、八六八万円
▽水道事業債　二〇、六一八万円
▽病院事業債　一〇、〇一九万円
▽と畜場債　一七四万円

一時借入金の状況

当市において現在一時借入金はありません。

（二面へ続く）